

東京学芸大学 外国人児童生徒教育推進ユニット

「多様性が活かせることばの教育」

2024年度 研修B 幼・小・中・高を結ぶことばの授業

第2回 おしゃべりができる子どもの学習参加の支援

～みんなの考え・わたしの考え～

第2回 7月7日(日) 13:30-16:00

13:30-14:00 趣旨説明・講義

「子どもが学習参加するための力を育む日本語指導の工夫」

河野俊之（横浜国立大学）

14:00-14:50 事例報告

「子どもたちが考え、伝え合う場をつくる～読書カード活動等を例に～」

高柳なな枝（地球っ子クラブ2000）

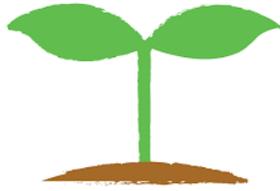
「JSL国語科「古典」単元の授業実践～比較分析する力を活かす」

一瀬知未（福生第二中学校）

15:00-15:50 タスク

日常のおしゃべりができる子どもを想定し、学習参加のための活動づくりをグループに分かれて行います。タスクに取り組み、グループ間で共有します。

15:50-16:00 閉会



講義

～事前動画視聴を受けて～

「子どもが学習参加するための力を育む日本語指導の工夫」
河野俊之（横浜国立大学）
～14:00

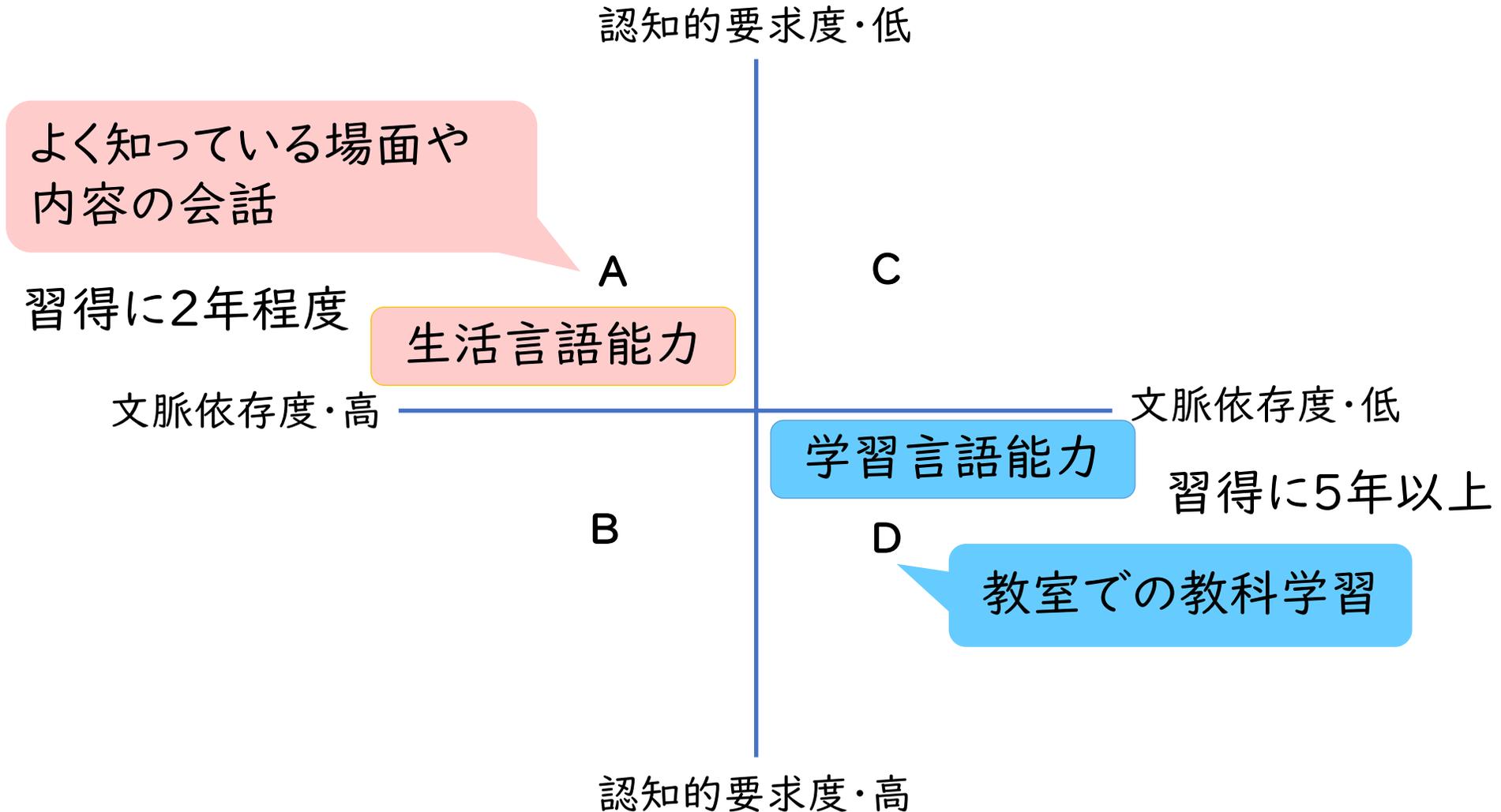
学習活動に参加できないと

- 居場所がない
 - 自己肯定感が低い
- ≠異文化摩擦
- ≠アイデンティティ



『教えよう日本語』凡人社

生活場面と学習場面の言語能力の違い



生活場面と学習場面の言語能力の違い

慣れ親しんだ親しい人との
1対1の対面場面で、日常的で
具体的な会話内容について
口頭でやりとりする力

習得に2年程度

生活言語能力

文脈依存度・高

認知的要求度・低

A

C

文脈依存度・低

学習言語能力

習得に5年以上

B

D

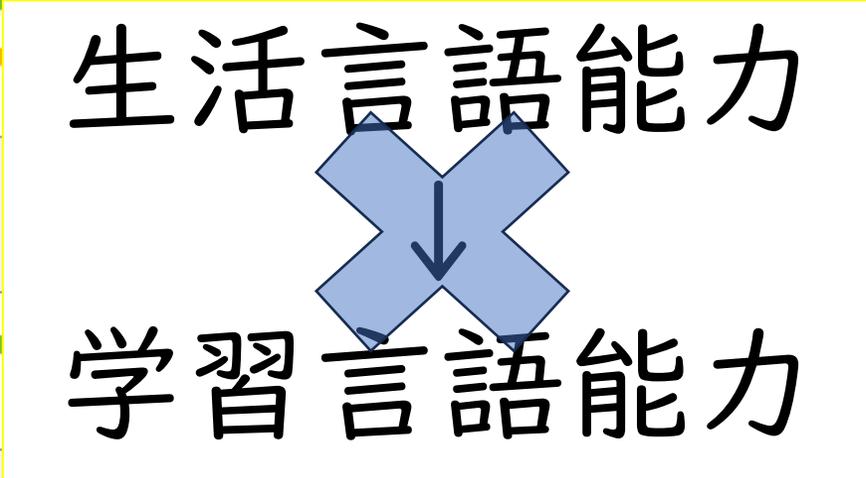
認知的要求度・高

言語のみで理解したり、表現したりできる力。情報を分析したり関連付けたりしながら、自分の考えを構成し、判断するなどの思考を支える力

プログラムの組み合わせ・実施時期

内容 (→プログラム化)
A 生活場面の語彙・表現、 会話
B 日本語の発音・文字・文法 などの基礎的知識・技能
C 文章の読み・書きの技能 まとまった内容を聞く・ 話す技能
D 教科等の学習に必要な 思考を支える日本語
E アイデンティティや 自己実現のための活動

日本語プログラム	～6か月	～1年	～1年6か月	～2年
A サバイバル 日本語	→			
B 日本語基礎 (文字・表記・ 語彙・文法)	→			
C 技能別日本語				→
D 日本語と教科 の統合学習				→
教科の補習 (適宜)			→	→
E 母語・母文化、 交流、キャリア教育	→			



学習言語能力

×生活言語能力→学習言語能力

学習言語だけを学ぶのではない

○教科等の内容と日本語を一緒に学ぶ

→教科と日本語の統合学習

(文部科学省「JSLカリキュラム」)

学習言語能力

×「学習のための言語＝教科語彙」の能力
応仁の乱・主語・比例・光合成

○学習のための「言語の能力」

→学習活動に**参加する**ための「言語の能力」

学習活動に参加するための「言語の能力」

- $3 + 2 + 1 = ?$

- $24 \div 6 = ?$

学習活動に参加するための「言語の能力」

たろくんは	2人	4人の
りしから	3	はの
あから	1	きた
せんぶ	<input type="text"/>	人

$$3 + 1 + 2 + 1 = 7$$

文部科学省「JSLカリキュラム」

- 味方になる …情意面への支援も
- 目標（内容と日本語の）を立てる
 - 日本語については産出を重視
- 単元のつながりを考慮する
- 授業の流れを意識する 「探究」活動を配置
- 参加の支援 ×講義（説明）
 - 具体物 体験（実験/調査/観察）
- 四技能で、総合的な力を

味方になる

- 「何が得意？日本語でもやってみよう！」
- 「よく知ってるね。日本語ではこういうよ。」
- △「日本語で勉強できないと困るよ。」
- △「Aさんのためだよ。」

自分で好きで来たわけではない。

× 同情

目標を立てる

- 教科の目標（単元・本時）
- 日本語の目標

バックワード・デザイン

日本語の目標

◆～と、～。

■向き □□へ向かって 反対/逆

•なぜかというと、～。

•～と思います。

単元のつながりを考慮する

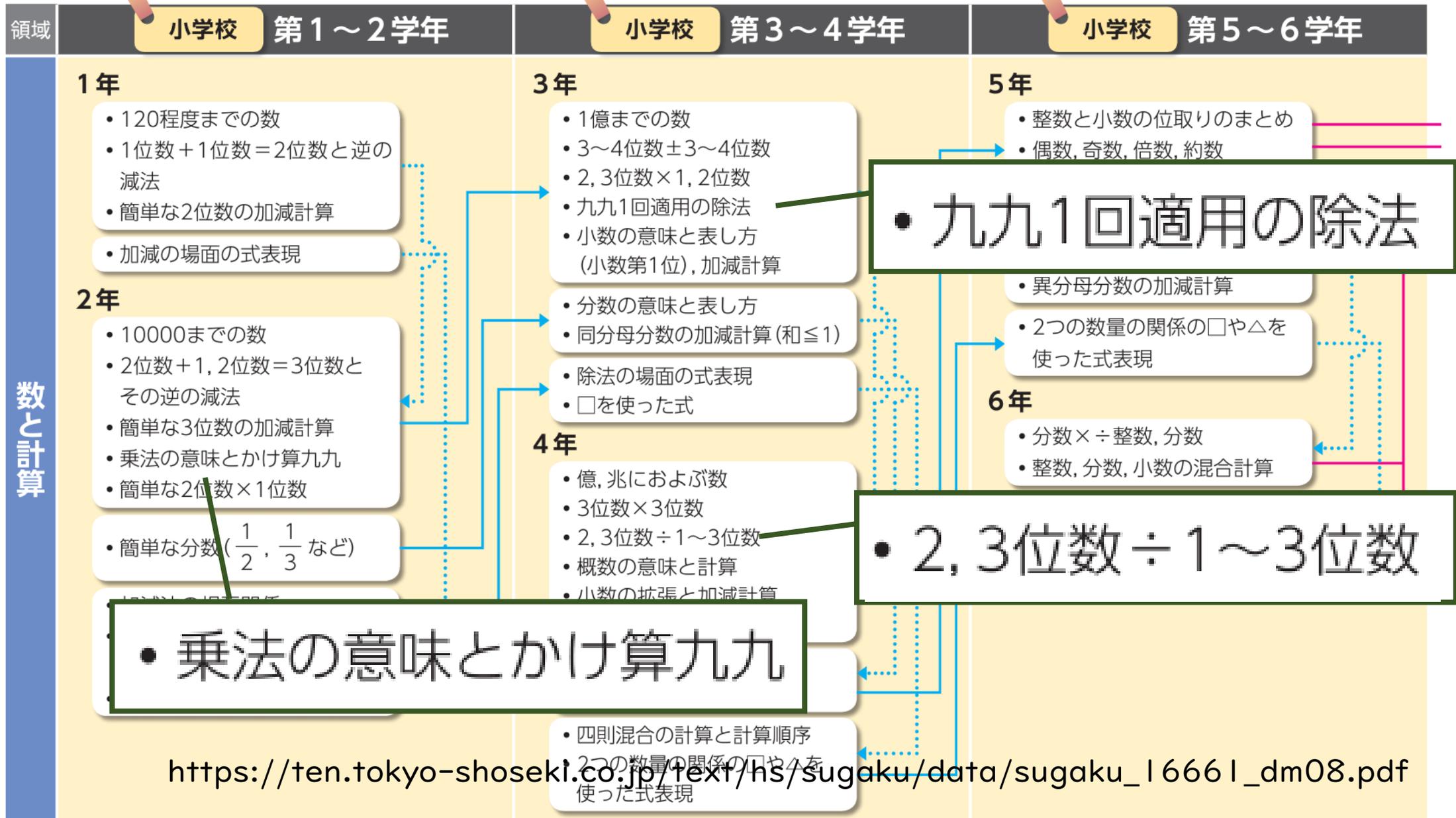
•既習/未習の事柄は何？

以下3枚のスライドで、大日本出版の
小学校・中学校の算数・数学、理科・科学の内容関連・系統表を
示します。

詳細は、それぞれのスライドに示す、URLにアクセスして
ご確認ください。

小学校・中学校

内容関連・系統表



理科の教科書の一部をお示しします
(加工してあります)。
右に示すデジタル教科書サンプル版
にアクセスしてご確認ください。

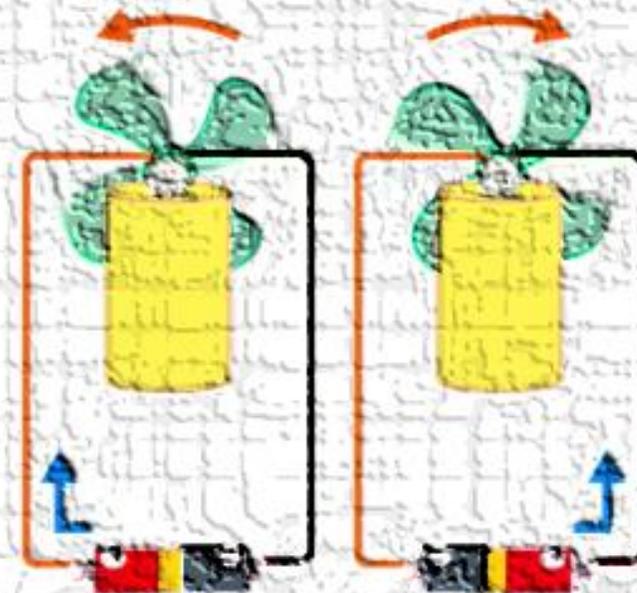
大日本図書デジタル教科書・教材 サンプル版
学習者用デジタル教科書『楽しい理科4年』

！ わかったこと

かん電池の向きを変えると、電流の向きも変わる。

電流は、かん電池の+極から
モーターを通り、-極へ向かって
流れる。

かん電池の向きを反対にすると、
回路に流れる電流の向きも反対に
なるので、モーターは反対に回る。



授業の流れを意識する



•理科

課題把握・予想➡実験・観察・調査➡考察➡発表

•社会科

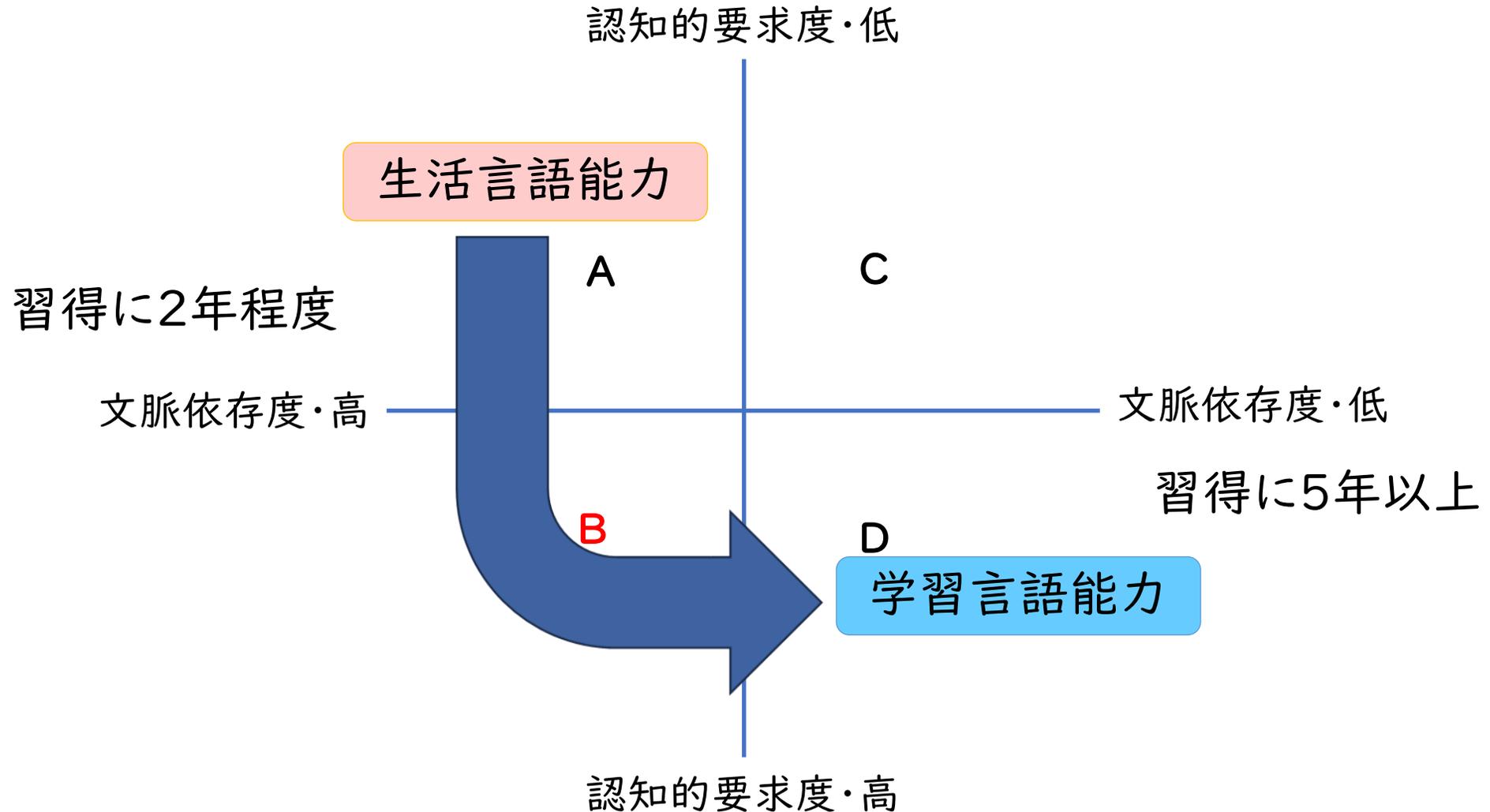
課題把握・予想➡調査➡考察➡発表

•算数科

問題把握➡解決の計画➡実行➡考察➡発表

×講義 具体物 体験(実験/調査/観察)

生活場面と学習場面の言語能力の違い

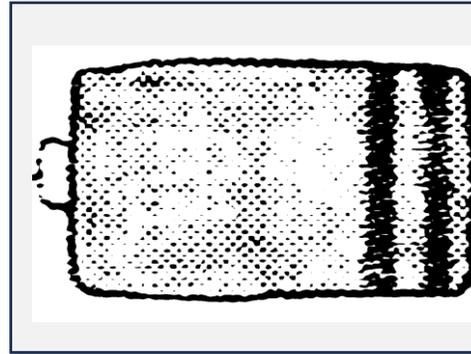


3つの支援の具体（直接的支援：理解・表現・記憶）

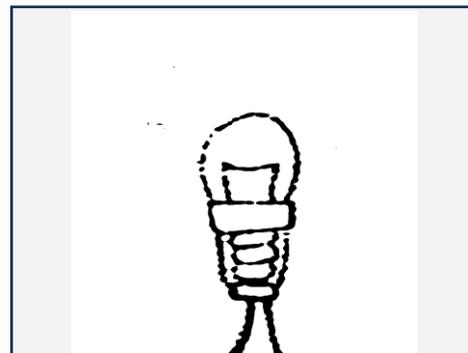
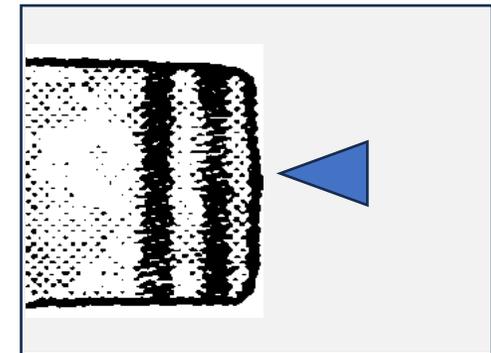
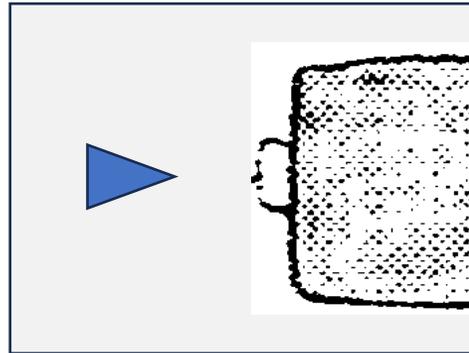
理解支援	表現支援	記憶支援
<ul style="list-style-type: none">・ 言い換える・ 視覚化する・ 色分けして示す・ 例示する 具体的な例を示す・ 比喩を利用する・ 対比させる・ 明示する・ 簡略化する・ 整理する・ 補足する・ 関連付け・ 既有知識を活性化する	<ul style="list-style-type: none">・ 選択肢を示す・ 表現方法を示す・ モデルを示す・ キーワードを示す・ 対話で引き出す・ 母語で表現させる・ 学習した内容を分割して示す・ 内容構成のためのシートを準備する	<ul style="list-style-type: none">・ 内容の構成例を示す・ 視覚化する・ 身体化する・ 音声化する・ 物語化する・ 連想、グループ化・ 反復する・ 上の工夫をして、 繰り返し聞かせる、言わせる、 描かせる、読ませる・ 接触機会を増やす

実験器具

- カルタ等
- 板書



でんち
かん電池



大日本図書デジタル教科書・教材 サンプル版
学習者用デジタル教科書 『楽しい理科3年』

実験しながら、対話しながら

AU (Activity Unit) : 活動単位

子どもに必要な「日本語で学ぶ力」を小さな単位に分け、そこで使われる日本語の表現と組み合わせたもの。

理科AU:

学習活動:

帰結を説明する

働きかけ:

～と、どうなるか

応答:

～と、～なる、する

例文:

直列につなぐと電流が強くなる

【理科AUの例】（一部抜粋・補整）

205

段階	学習活動	理科AU		例文
		働きかけ	応答	
準備をいかに	を測ろう	どのように～か どのような～か どう～か	～のように～する ～のように～をする ～が～になっている	どのように育つか どのように葉で成長するか どう変わったか どう変化するか
	のまねよう	どんな～と～か ～には何が～か ～のものは何か ～と比べてみよう	～があれば～ ～には～が～ ～がもとになっている ～と比べてもっと～になるだろう	どんな条件があると発芽するか 発芽には何が必要か 食べ物のもとは何か ～と比べてみよう
手紙を書く	比較の表を作ろう	同じように～か 似ている～はないか	同じように～している ～と似ているから～だろう	太陽と雲のように動いているのだからか これと似ている雲の実はないか
	関係をつける	～と関係あるか ～から～か	～と関係があると使う ～けど～ないだろう	成長のしかたは種かさと関係があるか ～のとき出てきたから、アホのときも出てくるのか
観察・実験・導入	して、観察しよう	どう～か調べよう ～を見て～を観察しよう	～なって～していく ～を見ると～になっている	どうやって成長していくか調べよう 地層全体を見て色や厚さ、石の大きさなどを観察しよう
	を比較しよう	～して～か調べよう	～したら～になった ～しても～なかった	手で押して手ごたえがどう変わったか調べよう 水を蒸発させるとどうなるか調べよう

実験しながら、対話しながら

乾電池、豆電球、導線付きソケットを用意しておく

T:豆電球をソケットにねじ込んでください。

T:あかりをつけます。つないでください。

AB:あ!

T:あかりがつかしました。

T:これはあかりが…(導線を乾電池から離す)

AB:いいえ。

T:はい、あかりがつかしません。

実験しながら、対話しながら

T:これは？

AB:あかりがつかます。

T:どうしてあかりがつかますか。

A:豆電球と乾電池がくっついています。

T:そうですね。乾電池と豆電球が1つの輪のように、導線でつながっていますね。

実験しながら、対話しながら

T:じゃあ、これは？

これも乾電池と豆電球が1つの輪のように、導線でつながっていますね。
でも、あかりが付きませんね。

B:乾電池のここだよ！

T:ここってどこ？

B:ここ！

A:+極！

実験しながら、対話しながら

T: ああ、そうか。+極ね。あれ？

A: 違う！+極と-極！

T: 乾電池の+極と豆電球と乾電池の-極が
一つの輪のように、導線でつながっています。
この輪のことを回路といいます。

実験しながら、対話しながら

扇風機、乾電池

(2人以上いたら、わざと電池の+-極を異なる状態にしておく)

T: つないでください。

AB: あ、回った。

T: 涼しいですか。

A: 涼しいです。

B: 涼しくないです。

T: え? どうして?

実験しながら、対話しながら

T:じゃあ、もう1回やってみよう。Aさん。

A:風が来る。

T:じゃあ、Bさん。

B:風が来ない。

T:何が違う？

AB:……。

実験しながら、対話しながら

T:じゃあ、もう1回ね。

A:あ、Aのはこうで、Bさんのはこうだ！（プロペラの向きを示す）

T:そうですね。Aさんのはプロペラの回る向きがこうで、Bさんのはこうだね。

向きってというのは、どっちからどっちってことです。Aさんのはプロペラの回る向きがこっちからこっちで、Bさんのはこっちからこっちだね。

T:プロペラの回る向きが違うのはモーターの回る向きが違うからだけど、じゃあ、なんでモーターの回る向きが違うんだらう。

AB:……。

T:見て、何が違う？

AB:……。

実験しながら、対話しながら

T:よく見て。ヒントは乾電池です。

A:あ、AのとBさんののは反対だ!

T:そうですね。

Aさんののはプロペラの回る向きがこうで、Bさんののはこうだね。

Aさんののは涼しくて、Bさんののは涼しくないですね。

じゃあ、乾電池の向きを変えてみましょう。

AB:あ、涼しい/涼しくない!

実験しながら、対話しながら

T: 乾電池とモーターをつなぐと、回路に電流が流れて、モーターが回ります。
電気が流れているからですが、その電気の流れを電流と言います。
ここに書いてください。(プリントに書く)
水だとホースの中を流れるよね。
蛇口から出て、先まで流れるよね。
逆じゃないよね。そういう向きがあるよね。
電流も乾電池から出て、モーターを通過して、
乾電池に流れるっていう向きがあるんだね。
でも、電流の向きは+極から-極かなあ、-極から+極かなあ。
AB: わかりません。



実験しながら、対話しながら

T:でも、今まででわかったのは何ですか。

B:乾電池の向きを変えると、モーターの向きが変わります。

T:はい、どうして、モーターの向きが変わりますか。

A:乾電池の向きを変えると、モーターの向きが変わります。

T:ほかの言い方、ないですか。電流…

A:あ、電流の向きが変わると、モーターの向きが変わります。

T:そうですね。もうちょっと言いましょう。乾電池の向きを変えると…

A:乾電池の向きを変えると、電流の向きが変わります。

T:はい、それで、電流の向きが変わると…

B:電流の向きが変わると、モーターの向きが変わります。

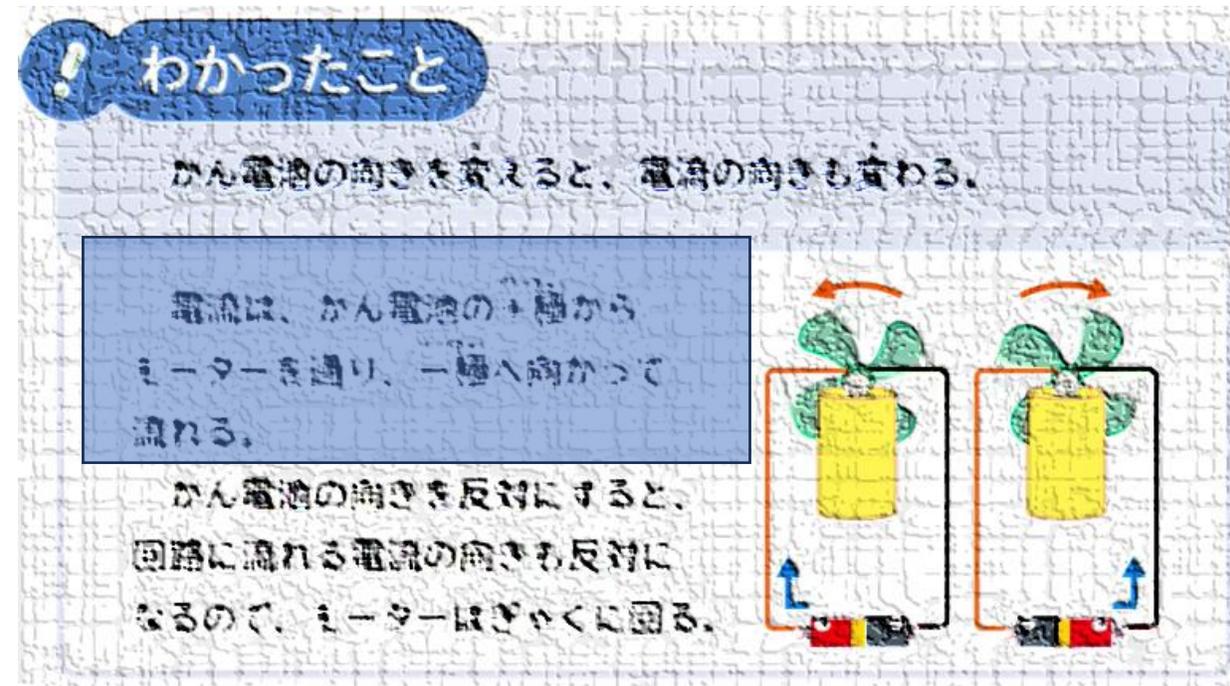
直接法

- やさしい日本語
- イラスト、図、実物など：ことばを使わなくてもわかる

四技能を入れる

- 1つの活動に四技能すべてを入れる
- 特に読む・書く
 - 教科書の表現・文章に近づけて
- 授業の最後には
 - まとまった形で言語化
 - おしゃべりに留まらないように

大日本図書デジタル教科書・教材 サンプル版
学習者用デジタル教科書『楽しい理科4年』



自分(の考え)を伝える

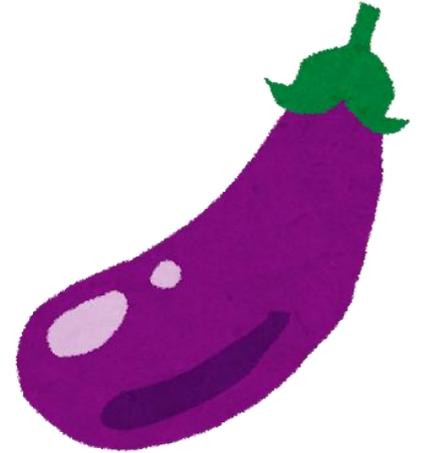
- ~が好きです/嫌いです・好きではありません

2.



自分(の考え)を伝える

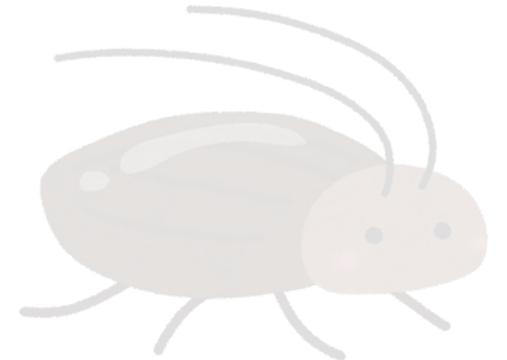
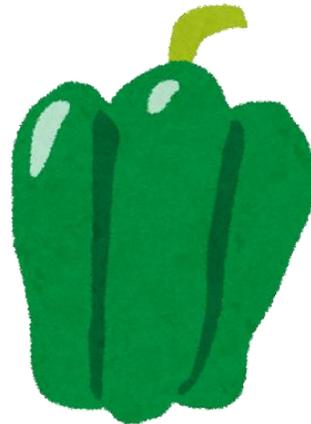
- ～が好きです/嫌いです・好きではありません



多里安



「いらすとや」



自分(の考え)を伝える

• ~と、~。

5



「学習活動に参加する」で気を付けること

- 「前もって学んでいる(べき)こと」と
「そこでみんなと初めて学ぶこと」
- 母学級で答えを言っちゃいますよね
- 国際教室に行くと得

参考文献・サイト

文部科学省「学校教育におけるJSLカリキュラムの開発について」(最終報告)小学校編

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/008.htm

文部科学省「学校教育におけるJSLカリキュラムの開発について」(最終報告)中学校編

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/011.htm

『小学校「JSL国語/社会/算数/理科」の授業作り』スリーエーネットワーク(絶版)

東書Eネット「小学校・中学校内容関連・系統表」

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/hs/sugaku/data/sugaku_16661_dm08.pdf

大日本図書「領域別内容系統一覧表」

https://www.dainippon-tosho.co.jp/introduction2024/contents/files/r6rika_keitou.pdf

14:00-14:50

事例報告

- 「子どもたちが考え、伝え合う場をつくる
～読書カード活動等を例に～」
高柳なな枝（地球っ子クラブ2000）
- 「JSL国語科「古典」単元の授業実践
～比較分析する力を活かす」
一瀬知未（福生第二中学校）